

日高の記憶

問い合わせ

生涯学習課文化財担当
☎042-985-0290

vol. 12

市内のさまざまな歴史・文化財を紹介する「ひだか歴史名勝ナビ」は、公開3年目を迎えました。60件でスタートした歴史名勝の数も、現在70件に到達しています。

今号で取り上げる歴史名勝は、江戸時代から明治時代初頭、寺子屋で教えていた「師匠」たちを称えた筆塚です。その内、高萩地区にある3つの筆塚をご紹介します。



寺子屋師匠たちの筆塚 ひだか歴史名勝No66～68

ひだか歴史名勝No66 雲松齋の筆塚

谷雲寺十七世玄竜和尚を称えた碑です。玄竜は安政6年(1859年)、住職になると寺子屋の名を「谷雲寺塾」と改め、明治7年(1874年)に塾を廃業するまで教授しました。碑に刻まれた「雲松齋」は玄竜の号です。碑は明治16年(1883年)に建立されたものです。



ひだか歴史名勝No67 井上鷲暁の筆塚

井上鷲暁は文化12年(1815年)の生まれで通称を邦三郎といい、幕末に姥田を知行していた旗本逸見氏の名主役を務めていました。寺子屋に関わる文書や碑文から、多くの子弟を教授したことが分かります。霞野神社境内にある碑は、明治12年(1879年)に多くの子弟たちにより建立されたものです。



ひだか歴史名勝No68 岡野純昭の筆塚

岡野純昭は、天保4年(1833年)、高麗大記(高麗家第56代)の弟として生まれました。漢学を学び国学を修め、書道にも長じていました。文久元年(1861年)、高萩にある高萩院の養嗣子となってから寺子屋を開き、村の子弟を教授するようになりました。明治元年(1867年)に高萩院は廃寺となりますが、明治9年(1876年)、純昭は小学校の教師となりました。碑は、純昭が50歳を迎えた明治15年(1882年)ごろに建てられたと思われま



ごみゼロの日・クリーン日高市民運動 および道路美化活動(春季)

市では5月31日(日)を「ごみゼロの日・クリーン日高市民運動の日」とし、市内一斉に清掃活動を行います。

ごみゼロ運動は、快適な生活環境を維持するために、市内の各団体のご協力をいただき、地域全体の美化清掃を行うものです。お住まいの地区や公園、河川、道路などの清掃活動を通じ、清潔感あふれるまちづくりを進めましょう。

なお、当日ご協力いただける団体を募集していますので、担当までご連絡ください。

問い合わせ 環境課廃棄物対策担当



わが家の愛撮る

お子さんの写真を掲載しませんか？
電子申請で簡単に投稿できます。



山崎陸ちゃん(1歳4か月)



照沼世柎ちゃん(0歳11か月)

編集室

広報担当となり2年目になりました。少しは成長できているかなと思いつつ、高萩北小学校入学式の取材に伺いました。期待と希望にきらきらと目を輝かせる子どもたちを見ると自分までうれしくなりました。ただ取材時のスーツがパンパンでワイシャツの一番上のボタンをかけるのが締めまり、極限状態での撮影でした。それもきつと成長の証と自分に言い聞かせ、本年度もいっぱい成長していきます。